

平成25年度
事業計画

学校法人大阪成蹊学園

目 次

- 経営計画

- 学校部門における教育計画
 - I 大阪成蹊大学
 - マネジメント学部
 - 芸術学部
 - II びわこ成蹊スポーツ大学
 - III 大阪成蹊短期大学
 - IV 大阪成蹊女子高等学校
 - V 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

< 経営計画 >

I. 大阪成蹊学園理念の徹底と実行

建学の精神 …………… 「桃李不言下自成蹊」

徳があり、人に慕われ、信頼される人を育てる

行動指針 …………… 「忠恕の精神」

人の気持ち、立場を思いやる心を持って誠実に生きる

II. 学園改革の経営方針

1. 学園風土改革及びブランド力の向上
2. 将来の発展に向けての各学校・学部の改革
3. 教育内容の充実
4. 学生指導・支援の強化
5. 就職支援活動の抜本改革
6. 入試広報戦略の一層の強化
7. 財務の抜本改革
8. 学園リスク管理の強化

III. 経営計画目標の達成

1. 学生募集目標 各学校とも、募集定員を確保する。

(単位：人)

事 項	大阪成蹊大学			びわこ成蹊スポーツ大学		大阪成蹊 短期大学	大阪成蹊 女子高校	短大附属 こみち幼稚園	合 計
	マネジメント学部	芸術学部	教育学部	大学院	スポーツ学部				
目標	200 (40)	157	100 (10)	10	280	660	430	90	1,927 (50)

注：()内は3年次編入定員で外数。

2. 収支目標

(単位：百万円)

	25年度 当初予算	(備考) 中期経営計画			
		26年度	27年度	28年度	29年度
帰属収入	6,430	6,573	6,740	6,881	6,817
消費支出	6,270	6,323	6,440	6,481	6,417
消費収支差額	160	250	300	400	400

IV. 具体的施策

1. 学園風土改革及びブランド力の向上

(1) 学園内風土改革の徹底

- ① 「学園ブランド力向上運動」の徹底
 - ◎ みずからの積極的な挨拶の励行
 - ◎ 適切な服装への積極的な指導
 - ◎ 相川キャンパス及び相川地区での全面禁煙の徹底

- | |
|----------------|
| ① 挨拶の励行運動 |
| ② 身だしなみ向上運動 |
| ③ 禁煙運動 |
| ④ 校内美化運動 |
| ⑤ 授業の遅刻・私語防止運動 |

- ② 教職員教育の強化と若返りによる清新な学園風土の構築

(2) 教育・アメニティ環境の整備

- ① 大阪成蹊大学教育学部新設及び在校生増加、学園の入学者増加への対応として、施設・設備の拡充・改修
- ② 音楽教育等への対応としての7階ホール舞台・設備の全面改修

2. 将来の発展に向けての各学校・学部の改革

(1) 大阪成蹊大学、マネジメント学部改革の推進

- ① スポーツビジネスコース、食ビジネスコースの一層の充実
- ② 平成25年度改編のメディアビジネスコースの創設
- ③ 大学、短大、高校、幼稚園間の連携強化

(2) 大阪成蹊大学、芸術学部改革の推進

- ① 北大阪地区唯一の芸術学部としての広報と募集の強化
- ② アニメーション・キャラクターデザインコースの一層の充実
- ③ 平成25年度新設のマンガ・デジタルアートコースの創設
- ④ 移転を契機とした各種イベント等の推進
 - ◎ 第三回「大阪成蹊アート&デザイン・コンペティション」の実施と内容の充実・強化
 - ◎ 「動物と触れ合う写生大会」の開催
 - ◎ 「キャンパス・ミュージアム」計画の実施
- ⑤ 高大連携、出前授業の推進強化

(3) 大阪成蹊大学、教育学部の平成26年4月設置（設置認可申請準備中）

- ① 学園の永年の伝統とそれにより培った児童教育の強み・特色を生かして教育学部を新設
教育学科 入学定員：100名、編入学定員：10名、収容人員：420名
2年次より、「初等教育コース」「幼児教育コース」の2コースの設置
- ② 新学部の理念・目標
 - ◎ 時代が求める新しい教育への対応と普遍的な教育の営みとを総合的・専門的に学修し、未来を切り拓く子どもの「生きる力」を育むことのできる、幅広い教養をもった専門職業人を養成する。
 - ◎ 人材育成目標

- 人間的なふれあいを通して心のきずなを深め、子どもの思いを受け止めることのできる人材
 - 幅広い教養を備え、新しい時代の教育知識を身につけた人材
 - 現代社会の教育課題に対応できる得意分野を持った人材
 - 教育実践を省察し研究することのできる人材
 - ③ 新学部の教育課程の充実
- (4) びわこ成蹊スポーツ大学の有カスポーツ大学としての一層のブランド力向上
- ① 教育内容の一層の充実
 - ② 学生数の増加に対応する教育研究環境の整備充実
- (5) 全国有数の総合短期大学の強みを生かした取組 (大阪成蹊短期大学)
- ① 幼教・調理・栄養・観光・経営会計等実学の一層の充実
 - ② 創造文化学科の「グローバルコミュニケーション学科」への名称変更(予定)と教育の充実
 - ③ 短大の強みを生かした、教育の学内連携による魅力ある大学づくり
- (6) 大阪最大の女子高等学校の強みを生かした取組 (大阪成蹊女子高等学校)
- ① 立地条件、コースの特色等を生かした募集の強化
 - ② 平成25年度新設の「キャリア特進コース」の創設
 - ③ 学園内連携による高短5ヵ年、高大7ヵ年一貫教育の充実
 - ④ 平成25年度入学生のフォローの強化
- (7) 短大附属に相応しい高度な幼児教育の構築 (こみち幼稚園)
- ① 預かり保育の充実等の保育・サポート体制の強化
 - ② 音楽、スポーツ、美術教育の充実
 - ③ 課外保育の充実
 - ④ 地域への広報活動の強化

3. 教育内容の充実

- (1) 社会人としての基礎力、人間力、就業力の強化教育
- ① 個人の特性把握に基づくキャリア教育の充実
 - 人とのコミュニケーション、プレゼンテーション能力、文章力等の表現能力の向上
 - ② 物事を正しく理解し、評価できる判断力の向上
 - ③ 人間力を育む総合教育の充実
- (2) 授業にマナー教育を取り入れて、社会人としてのマナーを身につけさせる
- (3) 教育研究支援センター組織の機能充実
- ① 国際交流、外部資金調達促進・支援、教員技術支援、資格取得教育支援、社会貢献事業の強化
 - ② 地元の各教育委員会との連携強化

(4) 学園内連携、学園内強化教育の促進

- ① 学園内の高校、短大、大学連携・支援による、音楽、美術、スポーツ、幼児教育、調理、栄養、デザイン、観光、会計及び英語教育の強化
- ② 高校・短大・大学のピアノ実技指導連携による高短5ヵ年、高大7ヵ年一貫教育の取組
ピアノ教育強化のための目標を明確化し、学園内グレード認定制度の継続実施、充実
- ③ 幼稚園、高校、短大合同の音楽発表会の実施

(5) 教職員業務の適正化

- ① 学生への支援、指導の改善による、募集成果への結びつけ及び学園評価（ブランド力）の向上
- ② 勤務の適正化と学生教育指導の充実、教員の評価制度の確立

4. 学生指導・支援の強化

(1) 学生満足度の向上

- ① オフィスアワーの活用による個別指導の取組
- ② 「学生支援センター」、「留学生支援センター」による、学び及び大学生活全般のサポート強化
- ③ 「スポーツ&カルチャーセンター」との連携によるクラブ活動の活性化

(2) 「スポーツ&カルチャーセンター」の機能強化

- ① スポーツ特待生の育成強化（陸上競技、フットサル、テニス、バトントワリング、水泳）
- ② 「スポーツビジネスコース」との連携強化
- ③ 「大阪成蹊学園コーラス部」、「吹奏楽部」の強化
- ④ 平成26年度「ダンス部（仮称）」立上げの準備
- ⑤ クラブ活動への加入促進と活性化

5. 就職支援活動の抜本改革

- (1) 就職内定率目標の早期必達
- (2) 企業開拓の強化と重点就職斡旋先との親密化促進
- (3) 就活サポートプログラム、インターンシッププログラムの充実・強化

6. 入試広報戦略の一層の強化

- (1) 地域内の中学・高校との紐帯促進、募集強化及び教員による高校訪問の強化
- (2) 募集広報、学園広報の一層の充実
- (3) オープンキャンパスの充実
- (4) TVコマーシャルによる教育学部広報の実施
- (5) インターネット出願の実施

7. 財務の抜本改革

- (1) 学生募集の強化

学生確保のための募集強化諸施策による収入の増加

(2) 経常的管理運営コストの改善

経費の効率的な執行管理

8. 学園リスク管理の強化

(1) 組織運営体制の強化

(2) 学園リスク管理の強化

- ① 法令順守の徹底
- ② リスク管理重点項目の管理強化
- ③ 防災管理体制の強化
- ④ 改正労働契約法への対応

I 大阪成蹊大学 マネジメント学部

1. 教育内容の充実

- (1) 学生満足 (SS) と教育モチベーションを高める教育の実施
 - ① 大学適応を支援する「初年次教育」の充実
 - ② コース別教育課程の設置と履修指導、指導内容、指導方法の検討
 - ③ 1年次からの「課題解決型グループ学習」の実施・充実
:学習への動機づけ、協力態度とコミュニケーション力の育成
 - ④ 留学生に対する大学適応支援と日本語能力向上支援
 - ⑤ 学生の積極的な授業参加と授業への取り組み姿勢の改善
振り返りを促す仕掛けづくり
「携帯電話による出欠振り返りシステム」の活用
 - ⑥ 大学生活に目標を持たせるため、資格取得支援の充実
 - ⑦ 教員免許取得 (幼・小) と保育士受験資格取得に向けた短期大学との連携・強化
- (2) 総合的な人間力・社会人基礎力・就業力を育む教育の展開
 - ① 学生マナー向上
学園ブランド力向上5運動 (挨拶、禁煙、ゴミ、私語、服装) の継続
 - ② 各ゼミや授業科目での学士力向上の指導強化
身につけるべき学士力を獲得するための個別指導や授業方法の改善を図る。

2. 学生指導・支援活動の強化による学生満足度の向上

- (1) 課外活動の活性化
 - ① 課外活動参加率の向上
 - ② クラブ・同好会・サークルの充実
課外活動におけるマナー教育、リーダー研修
- (2) 中途退学者縮減
個人別カルテ作成による、多欠席・低単位・休学者の授業出席・授業履修の指導徹底
 - ① 学生支援委員会、教員 (アドバイザー、学生相談員) による個別指導
 - ② 個人別カルテの履歴管理による個別指導・フォローの実施

3. 就職・進路支援の強化

正課のキャリア支援科目と就職部で実施する課外の就活サポートプログラムとの連携強化、キャリアカウンセリング・資格取得支援による就職基礎能力の向上を図る。

- (1) 個人別就職活動状況管理表による徹底指導・フォロー
- (2) 基礎学力及びSPI成績等のデータ管理とレベル別指導の強化
- (3) 正課であるキャリア科目内容の充実強化

(4) アドバイザー(教員)と就職部との連携の強化

- ・ 就活課題の情報共有と指導強化
- ・ キャリア科目内での就職部からの指導、伝達内容の徹底

4. 平成26年度学生募集の目標と募集対策

(1) 学生募集目標 …… 入学定員の確保

(2) 具体的な募集策

- ① オープンキャンパスによる学生生活の紹介
- ② オープンキャンパス参加者への情報発信の徹底
- ③ 学部、コースの認知度の向上

芸術学部

1. 教育内容の充実

初年次教育とキャリア支援の推進を中心に、基礎的な人間力と就業力の強化を図り、並存する新旧コースも含めた各学科コースの教育改善と、高度な造形力獲得のために専門教育の徹底化を推進する。

① 教育課程の改善

初年次教育の強化により、良識ある社会人としての自覚と自信を高め、就業力を養うことに注力する。特に、社会人基礎力のなかでも企業をはじめ実社会において最も重要と指摘されているコミュニケーション力とチームワーク力を、4年間で飛躍的に伸ばすことを目指す。

② 学年縦断的な授業設定による自主性の育成

2～4年生の学生が学年を縦断して受講するゼミにより、上級生と下級生が相互に習い、教える関係や、互いに刺激しあう環境をつくり、学習成果の向上を図る。

③ 学部FD推進による教員の教育力の強化

各種アンケート結果を、教育成果につなげることで学生の学力向上に努力する。

④ 基礎造形教育の充実と造形力の底上げ

学部専門教育の導入として、デッサン・グレード制度や色彩、構成、構想などの基礎造形教育など総合的で確実な造形力を身に付けさせる。

⑤ 卒業制作展や各学科コースの成果発表の推進

卒業制作展の充実を計画し成功させる。また、各学科においては3年生の進級制作展やファッションショーなどのイベントを展開し充実する。

2. 学生指導強化対策

学生の自主性を重視し、建学の精神を体現し魅力ある人材の育成に努める。

① 学園ブランド力向上5運動の推進

(1) あいさつ (2) 禁煙 (3) 美化 (4) 身だしなみ を柱としたより実質的な運動の強化。校内指導、相川周辺巡回指導をマネジメント学部・短期大学の教職員と共に活動を行う。

② 課外活動の活性化

新入生歓迎会、大学祭、スポーツ大会、クリスマスパーティー、オープンキャンパス学生会企画等の共同開催など学生会活動を活性化する。

- ・学生会統合後のクラブ（部・サークル）の運営、活動の見直し。
- ・学生会と地域連携の可能性を探る。
- ・各種大学行事への協力と参加を図る。

③ 休退学者縮減に関する学生指導強化

綿密な学生指導と学生カルテの有効な利用により、教職員間の強固な紐帯のもとに学生指導を徹底する。

3. 就職支援の強化

専門職志向の強い芸術学部の学生ではあるが、広く社会への道を開拓し、自己のキャリアデザインを方向づけるために就職支援教育を強化する。

- ① 就職指導の強化対策
- ② 資格取得支援バックアップ対策
- ③ 就活サポートプログラムの充実
- ④ インターンシッププログラムの強化
- ⑤ キャリア支援科目の強化、再構築

4. 平成 26 年度学生募集目標と募集対策

募集活動としては定員確保を第一義とし、近隣の高校のみならず、旧来から馴染み深い各地方の高校との関係強化等、周到な募集活動を展開する。

- ① オープンキャンパス等による入学説明
学内入試説明会において、教育改革後の新設コースの説明と新キャンパスでの学部教育研究活動の説明を行う。
- ② 高校訪問、進学説明会等を利用した説明
指定校の見直しにより、新たな協力校の選定や高大連携講座の開催等緊密な関係を構築する。
- ③ 大阪成蹊女子高校との内部連携の強化
併設高校美術・イラスト・アニメーションコースとの連携を図り、授業、講演会、オープンキャンパス等により説明・広報に努める。

5. 社会貢献

芸術学部の教育目的である美術・デザインによる社会貢献と、学生の社会人基礎力の育成を目指して各イベントの企画運営に取り組む。

- ① 第3回アート&デザインコンペティション開催計画（11月）
各賞の名称変更（「グランプリ」を「大阪成蹊大学芸術学部大賞」に変更）等、効果的な戦略で応募数の増加を計画する。
- ② 動物とふれ合う写生大会開催計画（6月）
学内連携（短大、高校、幼稚園）、地域連携を目的とした、よりアピール度の高いイベントの開催に尽力する。
- ③ キャンパスミュージアム計画（通年）
学生や教員の作品を学内に展示することで、キャンパス内の芸術性を演出する。
- ④ 高大連携・出前授業推進計画（通年）
- ⑤ 地域連携強化・こどもパートナー認証資格講座の運営（通年）

相川および北摂地区での学部の認知度の拡大に努める。

6. 国際交流

- ・海外姉妹校提携校との交換留学生の交流計画の企画・推進

7. 自己点検評価

各種アンケートによる学生の意見を学部教育改善や学生指導に反映させる。各学科コースの教育改善、学生指導、就職指導、施設設備の改善など、学部教育研究の改善と充実を目指す。

Ⅱ びわこ成蹊スポーツ大学

1. 教育内容の充実

- ① 教育組織の在り方を見直し、改編を検討する。
- ② 授業に興味を持たせ、学生の主体的な学習を促すため少人数教育、参加型・体験型授業、サービ斯拉ーニング等の導入について具体的な検討を進める。

2. 学生指導・支援の強化

- ① 休学・退学者の縮減対策を中心に教職員が一体となり修学支援体制の確立を目指す。
- ② スポーツ部活動への支援とともに競技成績の向上を目指す。

3. 就職支援の強化

就職内定率 100%を目指す。

- ① 早期のキャリアデザイン確立と就職活動のプロセスを学生に徹底させる。
- ② 企業説明会、試験対策講座等の充実を図る。

4. 平成26年度学生募集の目標と募集対策

学生募集目標 …… 定員の確保

- ① 安定的な入学者の確保のために指定校との連携をさらに強化し、高大連携として積極的にアプローチする。
- ② 入試における成績優秀者への学費減免制度を周知させ、学力レベルが高い志願者の受験を促す。
- ③ 教員による高校訪問の実施。

5. その他

在学生を対象とした成績優秀者およびスポーツ成績優秀者授業料減免制度を確立し、学生の学力、スポーツ活動の競技力の向上を図る。

Ⅲ 大阪成蹊短期大学

1. 教育内容の充実

- ① 人間力（社会人基礎力、就業力）を強化する。
 - ・成蹊基礎セミナーをはじめ複数の授業科目でリテラシーの育成強化を図る。
 - ・成蹊基礎セミナーや複数の授業でプレゼンテーション演習を行い、プレゼンテーション能力を育成する。
 - ・卒業制作や展示発表に取り組み、達成感を伴う人間力の育成を行う。
- ② 専門的スキルをいっそう強化する。
 - ・カリキュラムマップ、シラバスの改善を進め、学習成果を明確にした教育を進める。
 - ・学科・コース毎に各種資格の取得率の向上目標を設定し、指導する。
 - ・学内・学外発表の機会を活用して学生の自己研鑽をすすめ、実践力の向上を図る。
 - ・ピアノグレード制によるピアノ演奏技術の向上、調理技術等の練習機会を拡大する。

2. 学生指導・支援の強化

- ① 学園ブランド力向上運動を進める。
 - ・あいさつの励行、身だしなみ指導とスーツデイの実施、授業で座席指定をするなどの私語対策、禁煙指導を徹底して進める。
- ② 退学・休学の防止、多欠席者への指導を強化する。
 - ・退学率の縮減を図る。
 - ・出欠システムを活用し、学生の出席状況の迅速で的確な把握を行い、欠席学生に適切なアドバイスを行う。
 - ・個別学生の状況について共有化を図り、保護者との連携をすすめながらアドバイザーによる指導を徹底して行う。
 - ・経済的困窮学生に対する指導・援助を早期に行う。
- ③ 課外活動の活性化について指導を強化する。
 - ・学科の特性に応じてボランティア活動、学外イベント参加、学外連携プロジェクトへの参加を促す。
 - ・クラブ、学友会、学園祭実行委員会等への参加を促す。

3. 就職支援の強化

- ・キャリアプランニングなどの新規科目を開講し、キャリア教育を充実する。
- ・就職部のサポートプログラムへの参加を促し、早期から就職活動に参加させる。
- ・就職部と連携し、個別学生の特性に合わせた就職指導を行う。
- ・メイクアップ講習会など学科独自の就職セミナーを実施する。

4. 平成26年度学生募集の目標と募集対策

- ・平成25年度と同様の目標設定を行い、各学科とも実績を上回る。とりわけグローバル

コミュニケーション学科の募集活動を強化する。

- ・高等学校との連携を強化し、連絡を密にして、入学者の増加を図る。
- ・併設高校への連携授業を実施し、短期大学への理解を深め、進学者の増加を図る。
- ・フードフェスタ、模擬授業などのイベントの準備を周到に行い、楽しく魅力あるオープンキャンパスを実施し、参加者と出願率の向上を目指す。

5. 学内情報システムの活用

- ・出欠システム、プラムネットワーク等の学内情報システム活用を進める。

IV 大阪成蹊女子高等学校

1. 教育の強化

(1) マナー向上の教育

基本的な生活習慣、学習習慣を確立させると同時に、言葉づかいやマナーの向上への指導を強化、徹底する。

(2) 人間力（社会人基礎力）強化の教育

基礎学力、コミュニケーション力などのいわゆる人間力の育成とともに、本校の人間力向上教育の保護者への理解を深める機会を設ける。

(3) 教育の学園内連携の強化

併設大学、短大との連携を強化し、特別講義などの充実をはかる。

(4) 各コースの教育内容の再編と充実をはかり、満足度のさらなる向上をはかる。

2. 平成 26 年度の募集強化

①10 年後の生徒急減期に向けて「行ける学校から」「行きたい学校」へのイメージを浸透させ、長期的な展望の募集活動を行う。

②訪問中学校、学習塾の新規開拓をすすめ、新設のキャリア特進コースの広報をさらに充実させる。

3. 課外活動の活性化に関する指導強化

指導者の招聘や施設などの環境整備をさらに充実させる。

4. 独自の教育の強化

①学校改革第 2 章として、従来の「キャリア教育」を「女子教育としてのキャリア教育」へと発展させることにより、新設するキャリア特進コースと既存の 4 コースの他校との差別化を明確化する。

②ICT 教育を推進するために、LL 教室を充実させ、iPad の授業での活用を研究する。

V 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

1. 教育方針に基づく平成25年度教育計画

(1) 大阪成蹊大学芸術学部、短期大学、併設高校との連携を密にし、合同行事、連携保育を企画し、魅力ある幼稚園運営を図る。

- ① 教育実習生への指導強化 … 指導マニュアル（評価を含む）の作成等の徹底
- ② 課外保育の充実（年間実施回数の増加）
- ③ マナーの向上

学園ブランド力向上運動の徹底

(2) 預かり保育の充実

- ① 時間延長 … 朝7：30～ 最長19：00まで
- ② 預かり保育後の通園バス運行実施

(3) 未就園児の広報活動内容の充実

2. 保育内容の充実

(1) 保育者の資質の強化

- ① ティーム保育の実践、主任、中堅、新任教員の指導と教育の徹底
- ② 園内研修の実施 … 学期ごとの保育公開における保育研究と実技研修の実施
- ③ 既存のマニュアルの徹底及び見直し

(2) 日々の保育の充実

- ① 幼稚園教育要領に則る保育の実践とカリキュラム、行事内容の見直し
- ② 専門講師指導による「音・図・体」の強化と教員研修
- ③ 教職員間における報告・連絡・相談の徹底
- ④ 文部科学省、厚生労働省及び大阪府等からの幼稚園や保育園に関する情報の採集と伝達
- ⑤ 保護者からのアンケートの収集と分析及び解決の方法と回答

3. 未就園児への広報強化

“こみちで遊ぼう”の充実

(1) 内容の充実

- ① 在園児と遊ぶ機会の設定
- ② 対象年齢の引き下げ（1歳児の親子広場及びベビーマッサージ教室の開設）
- ③ 摂津地域や相川地域での2歳児親子教室の開設

(2) 参加者拡大のための広報強化

- ① 在園児を通して、案内の配布依頼やポスター掲示（マンションの掲示板や各家庭の玄関等）の協力要請
- ② 掲示板の利用（幼稚園玄関・地域の子育てサークル）… 掲示板に“こみちで遊ぼう”の案内ポスターを掲示する。

- 6
- 9
- ③ ホームページの利用 … 「こみち通信」において行事予定内容をアップし、参加を呼びかける。
 - ④ 参加者への事後対応 … 行事への案内や入園説明会の日程等の送付
 - ⑤ 地域の幼児教室との連携（施設貸し出し、給食試食会の実施）